

<高山市の経済構造に関するアンケート>

事業所調査報告書

■調査概要

調査目的：高山市の産業連関表を作成するため、売上や仕入状況などの産業の実態を把握すること。
また、産業政策の立案に資する事業所の意向等を把握すること。

実施期間：2017年（H29年）8月16日～9月4日

調査対象：2014年（H26年）経済センサスの対象事業所 6,600事業所

配布方式：郵送による配布・回収
（メールによる配布・回収も実施）

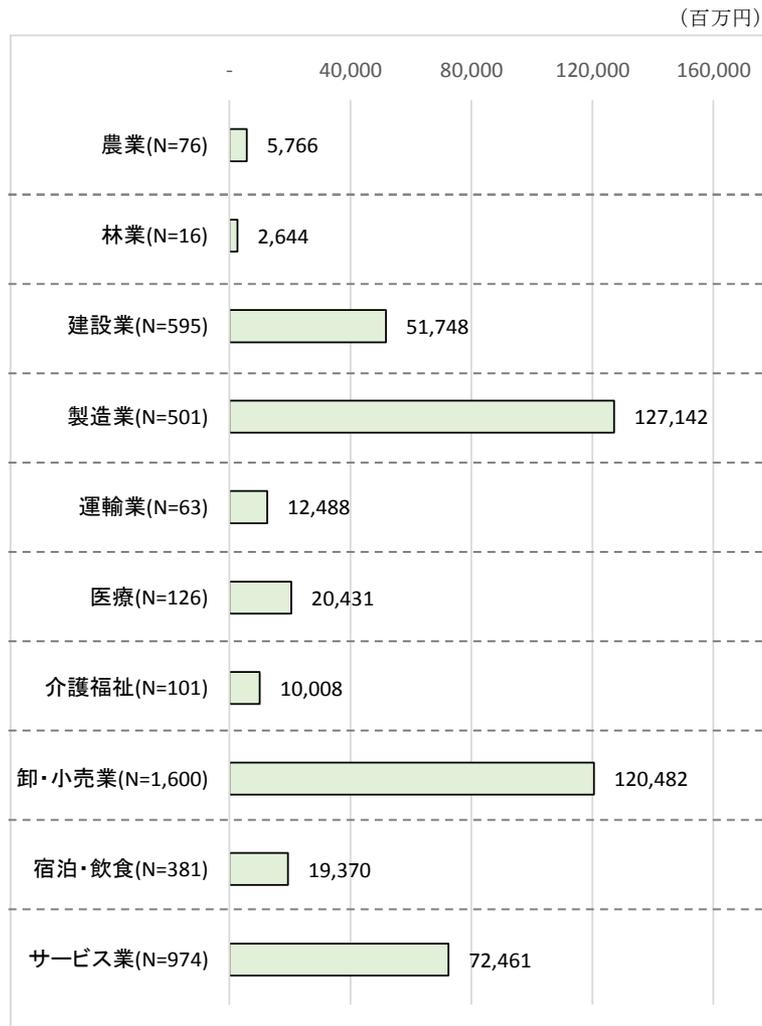
回収率：2014年（H26年）経済センサス売上額に対する回収した売上額の割合 81.6%
配布数 6,294件（未達・廃業除く）
回収数 2,345件 回収率 37.3%

※四捨五入のため、合計値が合わない場合がある。

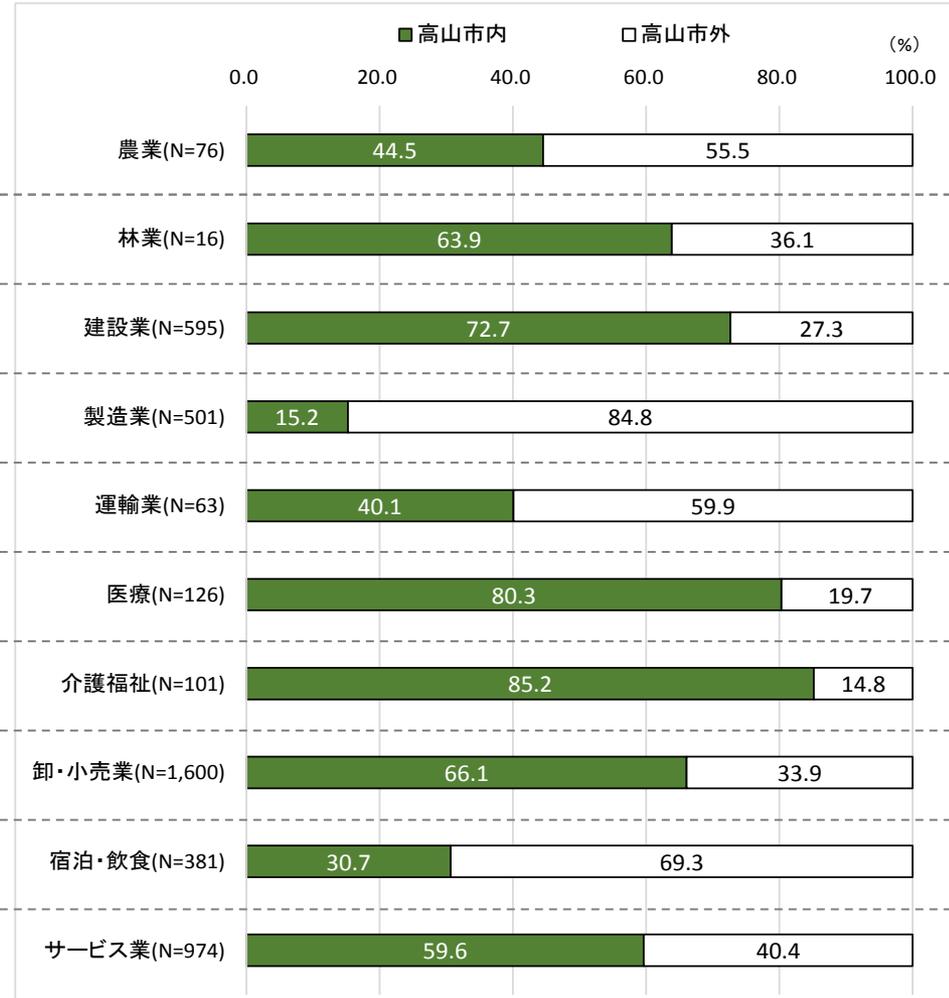
1. 売上について

- 売上額は、製造業、卸・小売業、サービス業、建設業の順となっている。
- 市外売上割合は、製造業、宿泊・飲食、運輸業、農業の順となっている。

(1) 産業部門別売上額



(2) 市内市外別・部門別の売上割合



※各事業所において発生した生産活動（アクティビティ）別の売上を該当する産業部門に振り分けて算出している。

図表内の「N」は本調査により把握した各部門における生産活動の合計を示している。

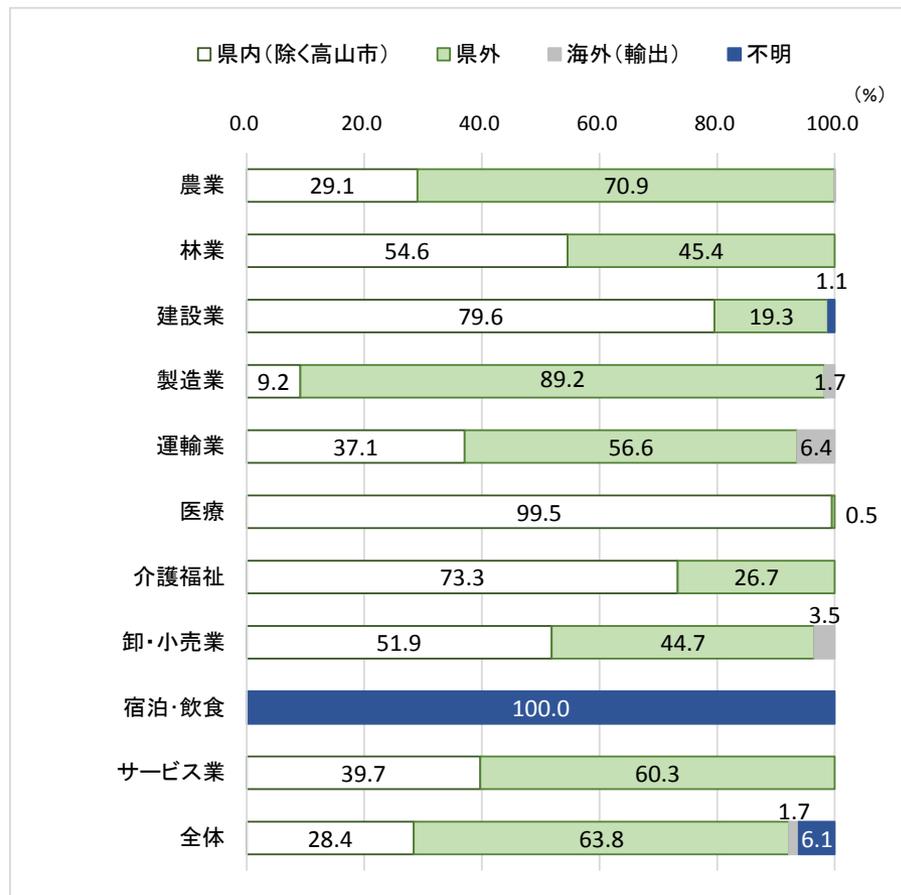
- 市外売上額は、製造業、卸・小売業、サービス業、建設業の順となっている。
- 市外売上額の内訳を見ると、県内（高山市除く）が28.4%、県外が63.8%、海外が1.7%となっている。

（３）市外売上額の内訳

(百万円)

	県内 (除く高山市)	県外	海外(輸出)	不明
農業(N=76)	930	2,268	0.2	0
林業(N=16)	521	434	0	0
建設業(N=595)	11,257	2,728	0.8	161
製造業(N=501)	9,867	96,103	1,816	0
運輸業(N=63)	2,772	4,230	478	0
医療(N=126)	4,005	20	0	0
介護福祉(N=101)	1,088	396	0	0
卸・小売業(N=1,600)	21,192	18,262	1,415	0
宿泊・飲食(N=381)	-	-	-	13,428
サービス業(N=974)	11,614	17,630	0	0
全体	63,246	142,071	3,710	13,589

（４）市外売上額の内訳割合



※「宿泊・飲食」の売上内訳は、市内と市外の回答であったため、「不明」に分類している。

2. 仕入・調達について

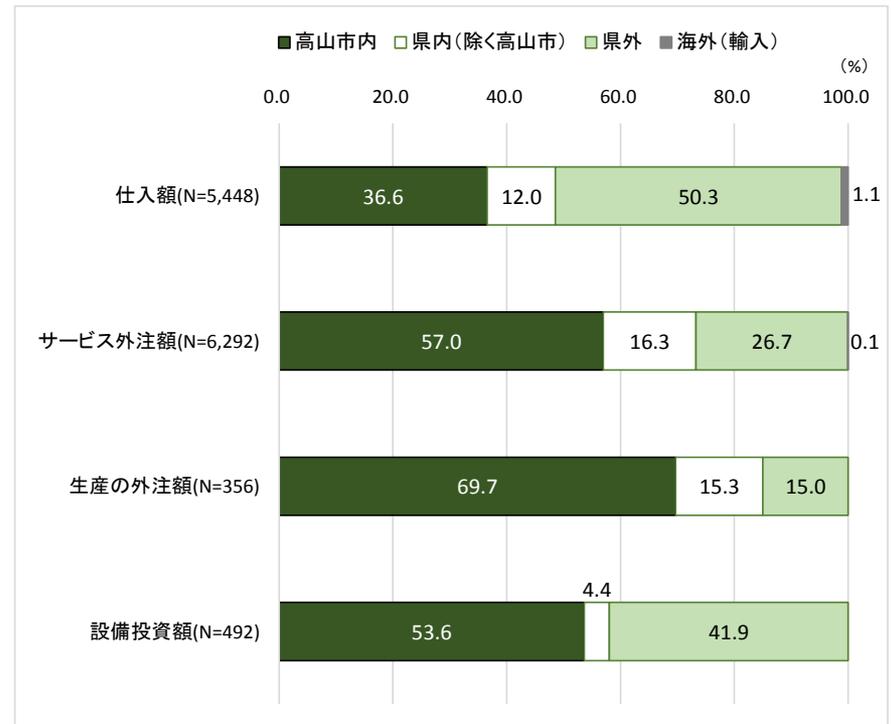
- 市内からの仕入・外注額の割合は、仕入額で36.6%、サービス外注額で57.0%、生産の外注額で69.7%、設備投資額で53.6%となっている。

(1) 仕入・外注額の調達先内訳

(百万円)

	高山市内	県内 (除く高山市)	県外	海外(輸出)
仕入額(N=5,448)	85,269	27,967	117,242	2,677
サービス外注額(N=6,292)	12,686	3,619	5,941	17
生産の外注額(N=356)	14,976	3,293	3,219	0
設備投資額(N=492)	3,505	288	2,741	0

(2) 仕入・外注額の調達先内訳割合



※ 「N」は各項目（仕入額、サービス外注額、生産の外注額、設備投資額）を回答した事業所数を示している（金額の合計値ではない）。

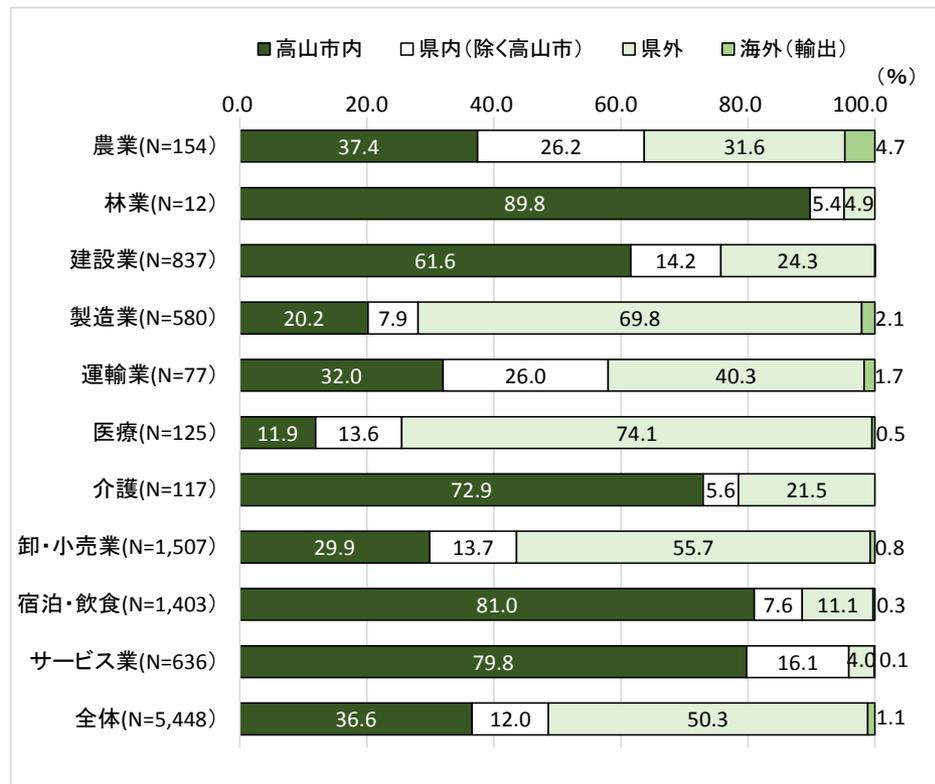
- 市内仕入額は、サービス業、卸・小売業、製造業、建設業の順となっている。
- 市内仕入額は、全体では36.6%、製造業、医療、卸・小売業で3割以下と低くなっている。一方、林業、介護、宿泊・飲食、サービス業では7割以上と高くなっている。

(3) 仕入額の内訳

(百万円)

	高山市内	県内 (除く高山市)	県外	海外(輸出)
農業(N=154)	926	649	782	117
林業(N=12)	653	39	35	0
建設業(N=837)	6,147	1,413	2,423	0.8
製造業(N=580)	17,341	6,770	59,973	1,802
運輸業(N=77)	358	291	451	19
医療(N=125)	444	505	2,758	17
介護(N=117)	537	41	158	0
卸・小売業(N=1,507)	26,153	11,980	48,772	661
宿泊・飲食(N=1,403)	2,973	278	409	12
サービス業(N=636)	29,737	6,002	1,481	49
全体(N=5,448)	85,269	27,967	117,242	2,677

(4) 仕入額の内訳割合



※各事業所において発生した生産活動（アクティビティ）別の仕入を該当する産業部門に振り分けて算出している。図表内の「N」は本調査により把握した各部門における生産活動の合計を示している。

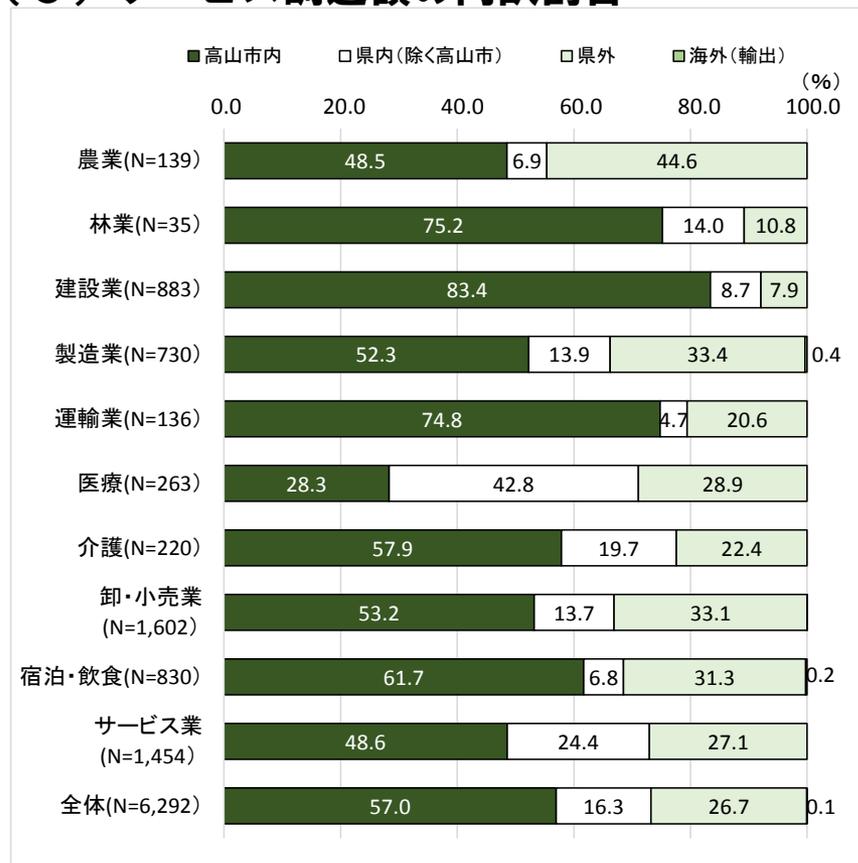
- 市内サービス調達額は、建設業、卸・小売業、サービス業の順となっている。
- 市内サービス調達額は、全体で57.0%、農業、医療、サービス業で5割以下となっている。一方、林業、建設業、運輸業では7割以上と高くなっている。

(5) サービス調達額の内訳

(百万円)

	高山市内	県内 (除く高山市)	県外	海外(輸出)
農業(N=139)	214	30	197	0
林業(N=35)	180	34	26	0
建設業(N=883)	2,227	232	211	0
製造業(N=730)	1,916	511	1,226	13
運輸業(N=136)	1,840	115	506	0
医療(N=263)	554	837	567	0
介護(N=220)	482	164	187	0
卸・小売業(N=1,602)	2,131	549	1,325	0
宿泊・飲食(N=830)	1,093	121	555	4
サービス業(N=1,454)	2,048	1,027	1,141	0
全体(N=6,292)	12,686	3,619	5,941	17

(6) サービス調達額の内訳割合



※各事業所において発生した生産活動（アクティビティ）別のサービス調達額を該当する産業部門に振り分けて算出している。

図表内の「N」は本調査により把握した各部門における生産活動の合計を示している。

3. 市外から材料やサービスを調達している理由について

- 市外から材料を調達している理由として、全体では「市内には調達先がない」が最も多く、次いで「既存取引先との信頼関係」、「市内では価格が高い」となっている。

(1) 材料の仕入（複数回答）

※回答割合が高い上位2つを太字で表記

回答件数（件）、選択項目（%）

	回答件数	市内には調達先がない	市内に調達先があるかわからない	市内では量の安定調達ができない	市内では品質やサービスが不十分	市内では価格が高い	本社の指示	系列企業からの調達	既存取引先との信頼関係	その他
農業	57	36.8	3.5	26.3	10.5	14.0	0.0	19.3	15.8	22.8
林業	8	37.5	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	37.5	0.0	0.0
建設業	251	51.8	4.4	10.8	4.8	13.5	1.6	6.8	26.3	19.9
製造業	338	59.8	5.3	20.1	8.3	18.0	4.1	1.8	13.0	13.9
運輸業	37	10.8	8.1	0.0	5.4	24.3	29.7	13.5	13.5	2.7
医療	103	26.2	18.4	5.8	19.4	34.0	5.8	1.9	17.5	17.5
介護	47	29.8	10.6	6.4	14.9	25.5	17.0	4.3	17.0	10.6
卸・小売業	988	59.2	2.0	14.4	5.3	10.1	9.7	19.0	16.2	6.6
宿泊・飲食	395	29.4	3.5	12.2	11.9	26.1	9.4	2.3	17.0	12.2
サービス業	379	48.0	4.5	10.0	10.6	19.5	6.9	7.4	19.8	12.4
合計	2,603	49.3	4.2	13.6	8.2	16.8	7.8	10.4	17.4	11.3

※「回答件数」は、各選択肢に回答した事業所数を示している。複数回答であるため、アンケートに回答した事業所数とは一致しない。

- 市外からサービスを調達している理由として、全体では「市内には調達先がない」が最も多く、次いで「既存取引先との信頼関係」、「系列企業からの調達」となっている。

(2) サービスの調達（複数回答）

※回答割合が高い上位2つを太字で表記

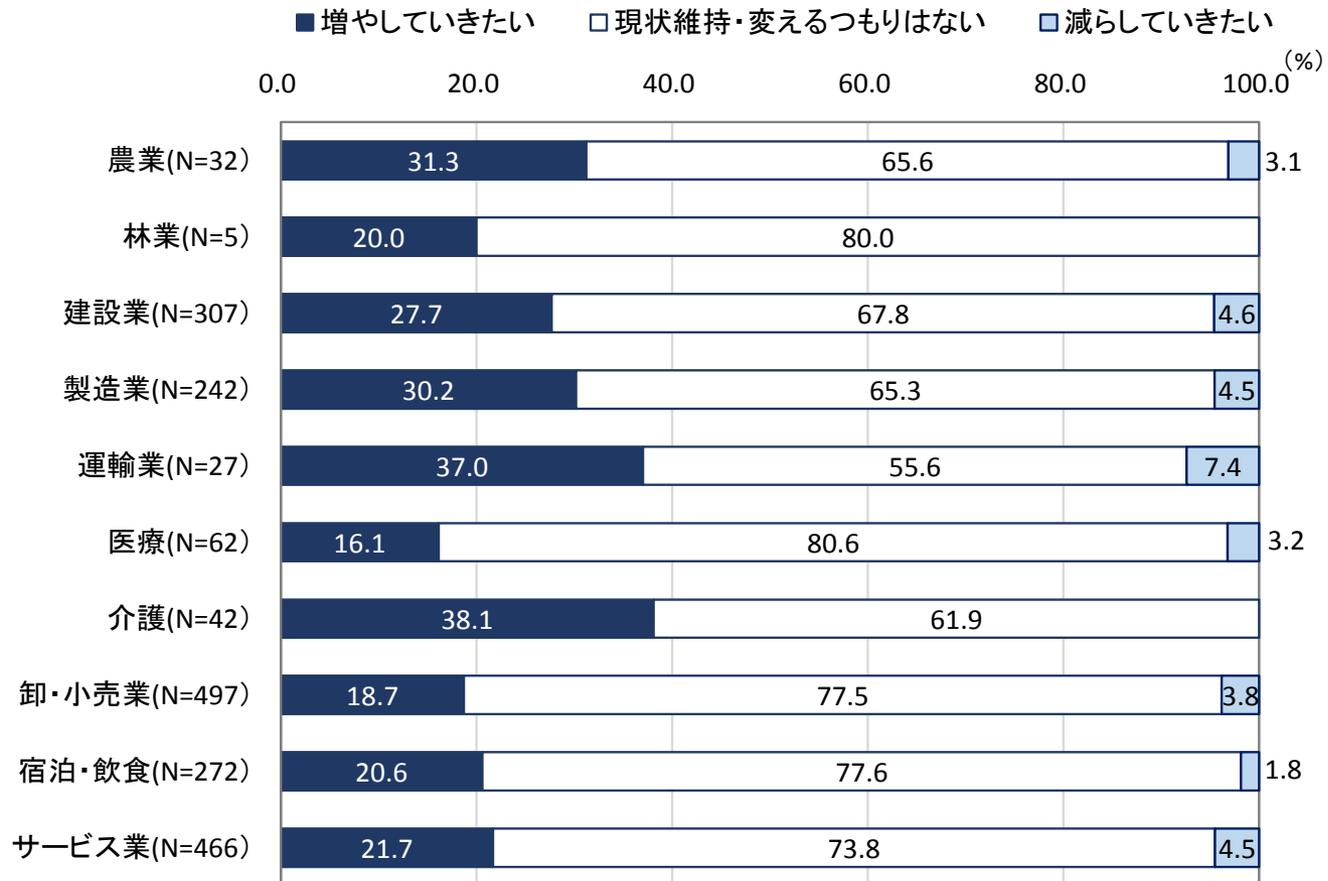
回答件数（件）、選択項目（%）

	回答件数	市内には調達先がない	市内に調達先があるかわからない	市内では量の安定調達ができない	市内では品質やサービスが不十分	市内では価格が高い	本社の指示	系列企業からの調達	既存取引先との信頼関係	その他
農業	26	61.5	3.8	7.7	7.7	3.8	0.0	3.8	15.4	3.8
林業	7	28.6	0.0	28.6	0.0	28.6	14.3	14.3	42.9	0.0
建設業	143	52.4	5.6	5.6	2.1	4.9	7.0	5.6	18.9	10.5
製造業	156	53.8	3.8	8.3	9.0	10.3	1.3	5.8	22.4	13.5
運輸業	43	18.6	0.0	7.0	0.0	0.0	32.6	18.6	23.3	2.3
医療	65	63.1	4.6	6.2	12.3	4.6	4.6	1.5	20.0	10.8
介護	63	38.1	11.1	4.8	6.3	3.2	25.4	3.2	19.0	20.6
卸・小売業	445	38.0	2.9	5.2	8.5	2.5	15.1	22.7	27.2	5.8
宿泊・飲食	154	39.6	4.5	3.9	9.7	3.9	9.1	9.1	20.8	22.7
サービス業	468	39.1	1.7	5.6	15.4	2.8	8.5	15.2	32.1	15.2
合計	1,570	42.2	3.4	5.7	9.9	3.9	10.6	13.8	25.9	12.1

※「回答件数」は、各選択肢に回答した事業所数を示している。複数回答であるため、アンケートに回答した事業所数とは一致しない。

- 農業、製造業、運輸業、介護の3割以上が、市内での調達について増加の意向を持っている。

(3) 市内調達の意向

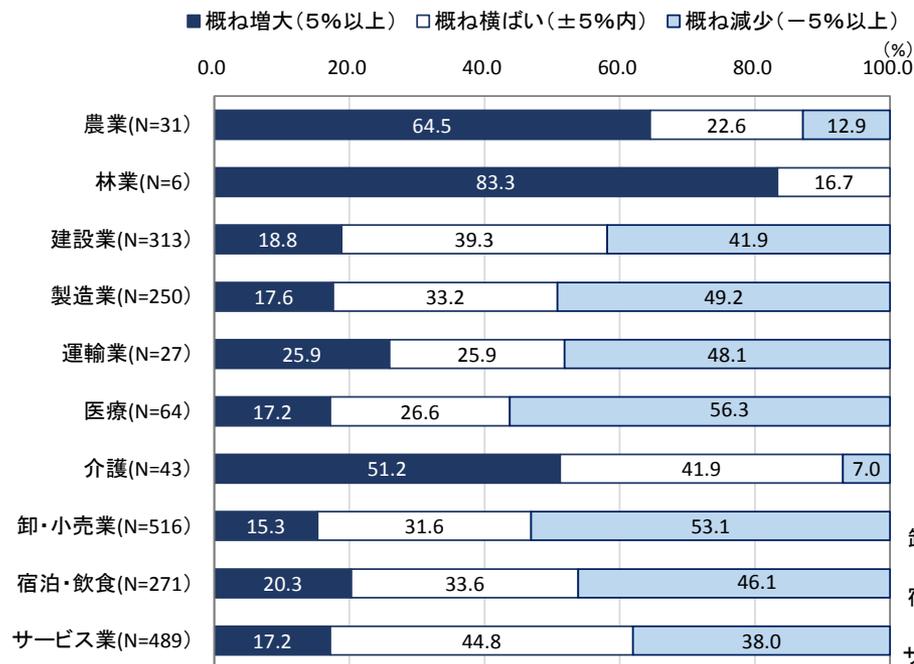


※「N」はアンケートに回答した事業所数を示している。

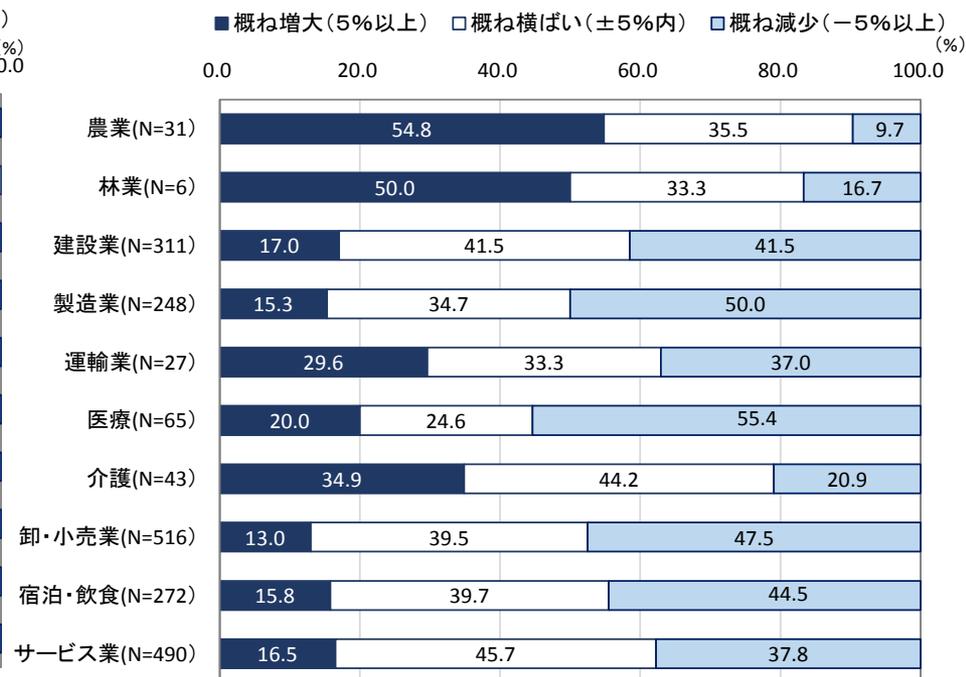
4. 事業の傾向と経営課題について

- 5年前と比較して売上が「概ね増大」と回答した事業所の割合は、林業、農業、介護の順で高くなっている。
- 過去5年間の営業利益の傾向が「概ね増大」と回答した事業所の割合は、農業、林業、介護の順で高くなっている。

(1) 5年前の売上との比較



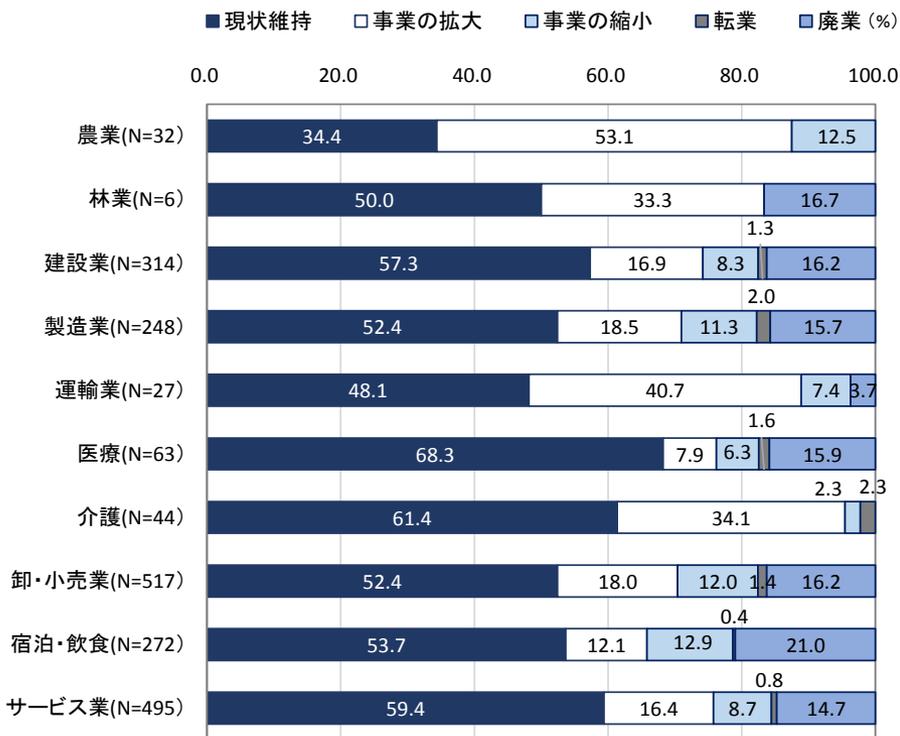
(2) 過去5年間の営業利益の傾向



※ 「N」 はアンケートに回答した事業所数を示している。

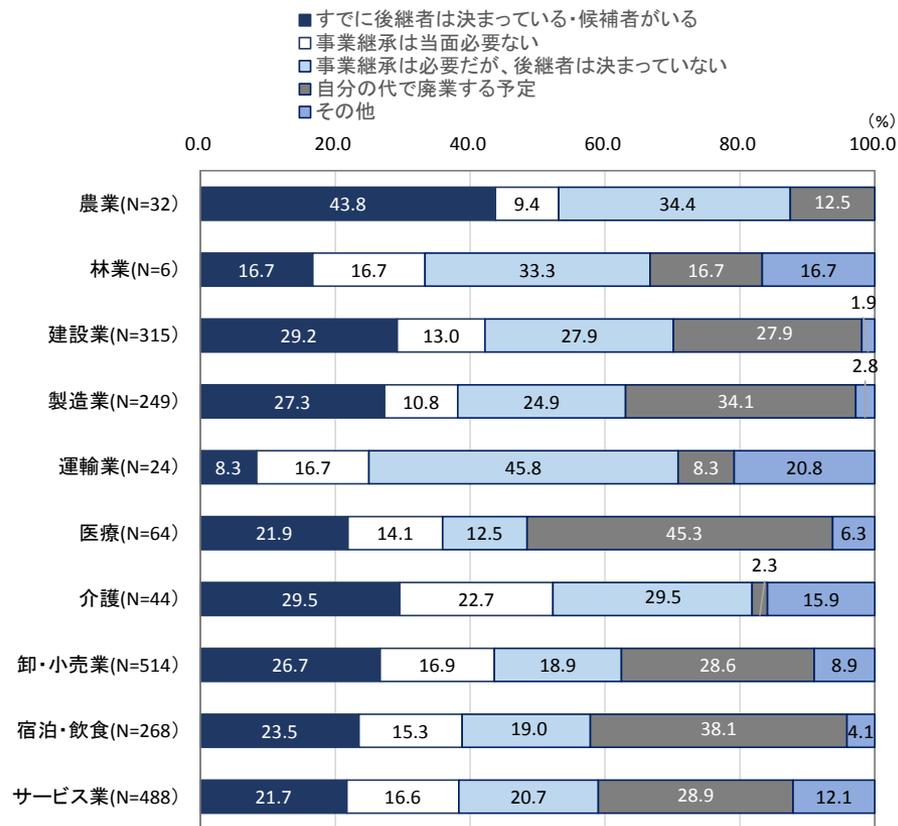
- 今後10年間の経営意向で「事業の拡大」と回答した事業所の割合は、農業、運輸業、介護、林業の順で高くなっている。
- 事業を承継する後継者の状況について、「すでに後継者は決まっている・候補者がいる」と回答した事業所の割合は、農業で高くなっている。一方で「自分の代で廃業する予定」と回答した事業所の割合は、医療、宿泊・飲食、製造業の順で高くなっている。

(3) 今後10年間の経営意向



※ 「N」 はアンケートに回答した事業所数を示している。

(4) 事業を承継する後継者の状況



- 事業を経営する上で困っていることの1位に、「新規人材の確保」、「従業員の高齢化」を回答した事業所が多くなっている。
- 2位、3位においては、「他社との競争の激化」、「設備の老朽化」などの回答が多くなっている。

(5)事業を経営する上で困っていること(上位3つを選択回答)

	1位		2位		3位		
	回答件数	割合(%)	回答件数	割合(%)	回答件数	割合(%)	
人材	新規人材の確保	451	23.4	122	7.5	88	5.9
	従業員の高齢化	250	13.0	209	12.9	110	7.4
	技術の継承	55	2.9	72	4.4	88	5.9
	後継者の確保	114	5.9	88	5.4	94	6.3
	従業員の技術・知識の向上	36	1.9	139	8.6	85	5.7
差別化	他社との競争の激化	189	9.8	167	10.3	120	8.0
	価格競争の激化	143	7.4	151	9.3	123	8.2
	取引条件の悪化	32	1.7	54	3.3	49	3.3
	取引企業の経営悪化	29	1.5	33	2.0	22	1.5
	資金繰りの悪化	82	4.3	69	4.2	81	5.4
設備	IT化の遅れ	9	0.5	30	1.8	29	1.9
	設備の老朽化	137	7.1	219	13.5	198	13.3
	設備資金の確保難	11	0.6	51	3.1	49	3.3
	運転資金の確保難	32	1.7	67	4.1	80	5.4
	研究開発・新技術への対応不足	8	0.4	14	0.9	39	2.6
	業界の構造変化への対応に苦慮	62	3.2	76	4.7	130	8.7
	現時点で特に課題はない	172	8.9	35	2.2	73	4.9
	その他	112	5.8	28	1.7	34	2.3
合計	1,924	100.0	1,624	100.0	1,492	100.0	

※「回答件数」は、各選択肢に回答した事業所数を示している。上位3項目を回答する設問であるため、アンケートに回答した事業所数とは一致しない。

- 産業部門別に、事業を経営する上で困っていることを平均点化してみると、農業で「取引条件の悪化」「業界の構造変化への対応に苦慮」、林業で「従業員の高齢化」「価格競争の激化」「業界の構造変化への対応に苦慮」、建設業で「その他」、製造業で「新規人材の確保」、運輸業で「取引企業の経営悪化」、医療で「その他」、介護で「新規人材の確保」「その他」、卸・小売業で「新規人材の確保」、宿泊・飲食で「新規人材の確保」、サービス業で「新規人材の確保」が上位にあがっている。

(6)事業を経営する上で困っていること（1位を3点、2位を2点、3位を1点として平均点化）

	新規人材の確保	従業員の高齢化	技術の継承	後継者の確保	従業員の技術・知識の向上	他社との競争の激化	価格競争の激化	取引条件の悪化	取引企業の経営悪化	資金繰りの悪化	IT化の遅れ	設備の老朽化	設備資金の確保難	運転資金の確保難	研究開発・新技術への対応不足	業界の構造変化への対応に苦慮	現時点で特に課題はない	その他
農業	2.5	2.6	1.0	1.8	1.6	1.0	1.5	3.0	2.0	2.3	0.0	1.5	1.7	2.2	0.0	3.0	0.0	1.7
林業	2.0	3.0	1.8	1.5	2.0	0.0	3.0	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0
建設業	2.5	2.2	1.7	1.9	1.8	2.1	2.2	2.0	1.7	1.9	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7	1.7	2.5	2.8
製造業	2.5	2.4	1.9	2.2	1.5	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	1.9	1.5	1.8	1.7	1.8	2.2	2.4
運輸業	2.3	2.2	1.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	1.0	1.0	2.0	2.5	0.0	0.0	1.3	1.5	1.8
医療	2.5	2.3	1.8	2.5	1.3	2.4	2.0	1.5	0.0	2.0	0.0	2.0	1.2	2.0	1.0	2.3	2.3	2.9
介護	2.7	1.7	1.0	1.8	1.7	1.8	1.5	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	1.3	2.0	0.0	1.4	2.3	2.7
卸・小売業	2.6	2.2	2.2	2.1	2.0	2.1	2.1	1.7	2.2	1.9	1.4	1.7	1.7	1.8	1.6	1.7	2.4	2.3
宿泊・飲食	2.5	2.4	2.0	2.1	1.6	2.0	1.8	1.8	2.0	2.1	1.9	2.0	1.6	1.4	1.3	1.9	2.3	2.3
サービス業	2.6	2.2	1.9	2.1	1.9	2.3	2.0	1.8	2.0	2.0	1.8	2.0	1.8	1.7	1.3	1.6	2.3	2.5